

川崎イーストワンビル

機械式駐車設備 ● 納入事例 — 「新しいアミューズメント&ビジネス拠点」

川崎駅前に先進機能を装備した インテリジェントビルが誕生

東京と横浜の中間に位置する川崎は、アッパーミドルクラスの上質な郊外生活と、活力あふれる下町情緒が混在する魅力的な街。百三十万人の人口を擁する政令指定都市の中心、川崎駅前に、このほど新しいアミューズメント&ビジネス拠点が誕生しました。

には花崗岩打ち込みPC板を選択。JR川崎駅東口広場に面した南側外壁は、前面ガラスを使用した透明感のある構成です。さらに、正面横の建物コーナー部分は、特徴的な形態のPC板やガラス面の採用によって、駅前空間にふさわしいシンボリックなイメージと多様な表情が生まれました。

川崎イーストワンビルは、JR川崎駅と京浜急行・川崎駅の、どちらからも徒歩一分という、至便な立地にあります。ビジネスビルや飲食店が集まり、乗降客や買い物客でにぎわう繁華街にあって、そのスタイリッシュな外観と高い階層が、ひととき印象的なテナントオフィスビルです。

当ビルは、地下一階・地上十三階建て。地下一階から地上三階までが飲食店ほか店舗、四階から十三階が事務所・店舗となっています。

外壁には、川崎市の景観条例により、白系統の淡い色彩が求められていました。そこで、隣接するビルの側の壁面

機能も充実しています。OAフロアには百ミリを標準装備。天井高は二・七メートルを確保しました。また、最先端のIT化のために電気設備も百VA／平方メートルと余裕の対応設備になっています。セキュリティ面では、非接触カードシステムによる入退出管理を導入して、防犯対策にも重点を置きました。

エクセルシオール・カフェや大手旅行代理店のJTB、たかの友梨ビューティクリニックなどがテナントとして出店。通りに面した一階には、ローソンと並んで、機械式駐車設備の出入口があります。

円滑性に優れた『ELパーキング』 横縦列タイプを採用

川崎駅前という立地条件上、空き駐車場待ちの車両が道路上に待機する状況を極力軽減するために、川崎イーストワンビルに納入されたのは、エレベータ方式の機械式駐車場の中でも円滑性に優れたフォーク式の横縦列タイプです。

入庫した車が九十度動いて、格納庫に縦に乗り込んで収容されるため、狭いスペースでも大量収納できることが、採用の決め手となりました。

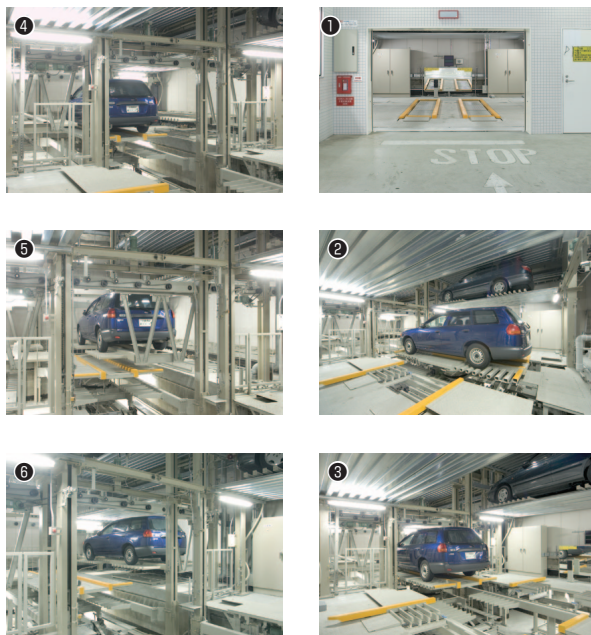
建築物の内部に駐車設備を収める「ビル内鉄骨型」は、本体建物の形状に合わせて手前と奥で台数を変えて配置し、有効に駐車空間が利用できるように工夫されています。

また、駐車場の時間貸し利用客のために、料金清算機とも連動させ、スムーズな入庫に一役買っています。

このような顧客のニーズへの技術的な対応力の確かさが、高い評価につながりました。

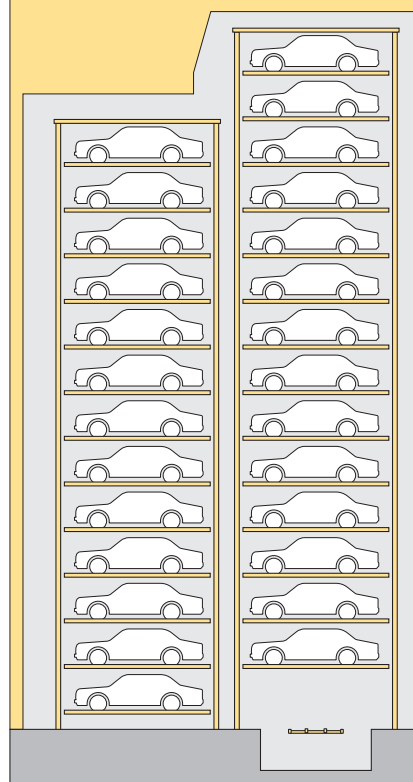
エレベータ方式〈フォーク式〉 ELパーキング

省スペースと大量格納を可能にしたELパーキングは、敷地面積と収容台数から、単独型、連塔型、縦列型からの選択が可能で、普通乗用車とハイルーフ車の混載収容が可能な「ミックス型」もあります。



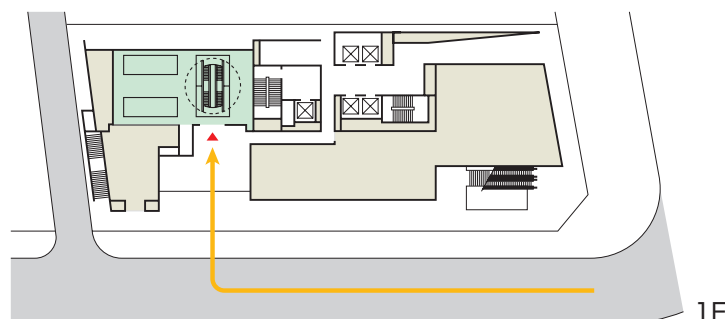
写真①～⑥はELパーキング横縦列型に、車を90度乗込方式で格納するシーンです。

駐車室断面図



乗込口の開口時

乗込口スペース



1F



横縦列型の乗込口レイアウト



乗込口の閉口時

【建築概要・規模】 ●建築主／(株)ダイショウ・ティーディー ●構造規模／地下1階、地上13階 ●建築面積／1,034.49㎡ ●延床面積／11,612.30㎡ ●設計・監理／(株)鳥谷部恭通建築設計研究所 ●施工／鹿島建設(株)
【駐車設備概要】 ●機種／型式：ELパーキング(エレベータ方式横縦列型(フォーク式))／DEL・ULSBS- (26・28) ●収容台数／54台